

殴ったり、蹴ったり しなくてもDV?

殴る、蹴るなど身体への暴力だけが、DVではありません。相手を傷つけたり、怖がらせたりするような行動もDVです。



どうしてデートDVは 起こるの

1. 力と支配

いろいろな人間関係の中では、肉体的な力や、地位・立場による力関係の中で、それを利用して「支配」が起こっています。その中で、「力による支配」を受け入れてしまうようになってしまうことがあります。嫉妬・束縛＝“愛情”（愛されている証）だと思ってしまうませんか？「愛していれば、何をしてもいい」ののでしょうか？

4. 恋愛至上主義社会

「恋愛してないなんておかしい」「恋人がいらないなんて寂しい」なんて思っていないですか？恋人がいなくなったらどうしよう…；こんな風に考えて、つらくても我慢してしまいます。また「恋人がいらないなんて“遅れている”」「はやくエッチを体験しなきゃ」というような友達同士のプレッシャー（ピア・プレッシャー）は、ありませんか？

2. マスメディアの影響

暴力による問題の解決は、テレビやマンガなど、マスメディアの中でよく表現されます。その影響により、暴力を認めてしまう意識ができてしまいます。

5. コミュニケーション不足

「愛に言葉はいらない」こういう言葉を聞きますよね。でも本当にそうでしょうか？相手に対する配慮って表現しないといけないこともありますよね。

3. ジェンダーバイアス

「従順でおとなしい女の子がいい」「男は少しくらい強引な方がいい」「女の方から避妊なんて言えない」「デート代を負担しているんだから、少しくらいこのことは我慢して当然」…こんな風に考えていませんか？このように、女らしさ、男らしさというくりにとらわれた偏った意識をジェンダーバイアスといいます。